

矢作川流域圏懇談会通信

R6 流域連携 vol. 6



発行日：令和 7年 3月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆第3回 中部のいい川ワークショップに参加しました！

第3回 中部のいい川ワークショップ『伊勢湾から見た私たちの流域とのつながり』に参加しました。

4つのセッションにより、各団体からの活動報告と質疑応答を行うとともに、話題提供、世代を超えたクロストークにより意見交換しました。話題提供は、岐阜共立大学 教授 森誠一氏、日本トンボ学会 役員 松沢孝晋氏、名古屋大学大学院 教授 中村晋一郎氏より実施していただきました。

日 時：令和7年2月1日（土） 9:30～17:00
場 所：三重県四日市市楠福祉会館 ホール
主 催：中部流域連携ネットワーク
共 催：愛知・川の会、矢作川流域圏懇談会、
22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会

開会宣言の様子



■プログラム内容

時間	プログラム
9:30 ～9:50	開会 ・開会宣言/趣旨説明 近藤朗、清水雅子、名畑恵、中村晋一郎 ・中部流域連携への期待 中部地方整備局長 佐藤寿延
9:50 ～10:50	セッションⅠ コーディネーター：近藤朗 流域の入口～ここにいない人たちを巻き込むために～ ① 草薙の神剣とロードマップ；山川里海、中田慎 ② （一社）CleaeWaterProject 小さな自然再生、つりチケなど；瀬川貴之 ③ 水辺とまちの入口研究所/堀川検定&ナゴヤSUP推進協議会；秀島栄三 ④ 木曽川流域研究会・木曽川研究会&みズべる会；中村晋一郎
10:50 ～11:40	セッションⅡ コーディネーター：清水雅子、河口千遥 流域を繋ぐ～水環境・流域総合水管理まで視野に入れて～ ① 矢作川流域圏懇談会；豊橋河川事務所 小池時広、中央コンサルタンツ 大嶋謙介 ② 豊田市矢作川研究所の30年/矢作川森の健康診断&天然アユ調査会など；近藤朗 ③ 揖斐川流域圏構想；泉京・垂井 神田浩史 ④ 鈴鹿川流域「魚と子どものネットワーク」3世代の共有；新玉拓也、峯和也 (11:40～12:30 お昼の休憩)
12:30 ～13:20	セッションⅢ コーディネーター：堺かなえ、清水雅子 世代を繋ぐ～全ての世代がこれからの新時代の担い手だ～ ① 未来創造プログラム；地域の未来・支援センター 三ツ松由有子with米田紗歩 ② 伊勢湾（答志島）でのアマモ場再生への挑戦；河口千遥 ③ 四日市市吉崎海岸と岐阜県小学校の交流；千葉賢、下田菜生 ④ 鈴鹿川 ネコギギの保全活動；鈴鹿高校 ⑤ 矢作川流域圏懇談会 担い手づくり事例集～流域圏大学構想へ；浜口美穂、近藤朗
13:20 ～14:10	セッションⅣ コーディネーター：近藤朗、堺かなえ 海から繋がる～伊勢湾・遠州灘から見れば中部全ての流域が繋がっていく～ ① 22世紀奈佐の浜プロジェクト；千葉賢、近藤朗、下田菜生、見屋井一輝 ② 長野県諏訪湖から答志島へ；近藤朗、小口智徳+信州大学生 ③ 矢作川流域圏懇談会；海部会 青木伸一、 伊勢湾再生推進会議 海域検討会；みなと総研 榎並万里子、伊勢湾フォーラム 柳田幸子 (14:10～14:20 午後の休憩)
14:20 ～15:05	話題提供 ①伊勢湾から見る流域環境；松沢孝晋 ②河川の時・空間論 ざわめく自然を求めて；森誠一 ③中部から川と人の関係性を考える；中村晋一郎
15:10 ～16:40	クロストーク；新玉拓也、中村晋一郎、森誠一、松沢孝晋
16:40 ～17:00	閉会

近藤朗氏

1. 第1部：4つのセッション



■ I.流域の入口、II.流域を繋ぐ、III.世代を繋ぐ、IV.海から繋がる

「セッションⅠ.流域の入口」では、狂言やIT、堀川検定および木曽川研究会などによって、これまで流域を認識していない一般市民を巻き込む活動を行っている個人、団体からの発表がなされた。

「セッションⅡ.流域を繋ぐ」では、矢作川流域圏懇談会をはじめ、流域圏の認識のもと、各団体の活動が発表されました。

「セッションⅢ.世代を繋ぐ」では、新時代の担い手である大学生や高校生がネコギギへの「愛」を語り、会場を熱くさせました。

「セッションⅣ.海から繋がる」では、流域の問題は海で現れることを改めて認識させられる発表でした。

“繋がり”がテーマのセッションであり、矢作川流域圏懇談会としても流域内での繋がり、流域間での繋がりが大事であることを再認識させられました。



セッションⅠ.流域の入口 質疑応答の様子



セッションⅡ.流域を繋ぐ 質疑応答の様子



セッションⅢ.世代を繋ぐ 質疑応答の様子



セッションⅣ.海から繋がる 質疑応答の様子

2. 第2部：クロストーク



■話題提供と世代を超えたクロストークセッション

松沢氏による「伊勢湾から見る流域環境」では、伊勢湾流域の成り立ちや東海丘陵要素のご説明や現代の水田が生物多様性にどのような影響を与えているか等をお話していただきました。

森氏による「河川の時・空間論」では、伏流水の重要性や「私たちは川のアミの目の中にいる」というお言葉をご紹介していただきました。

中村氏による「川と人の関係性を考える」では、川を線ではなく面としてとらえ、氾濫原の上にある社会を流域の一部と考えることが重要というお話をいただきました。

その後、新玉氏をコーディネーターに3名のクロストークによる話題の深堀、意見交換がされました。



世代を超えたクロストークセッションの様子



参加者全員での集合写真

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 蔭山、係長 小池、技官 中野

TEL 0532(48)8107

*矢作川に関する情報は、国土交通省 豊橋河川事務所 流域治水課 (cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp) までお送りください。

